

「生活道路対策エリア」の取組事例(高知県高知市潮江地区の事例)

路側帯設置
カラー舗装

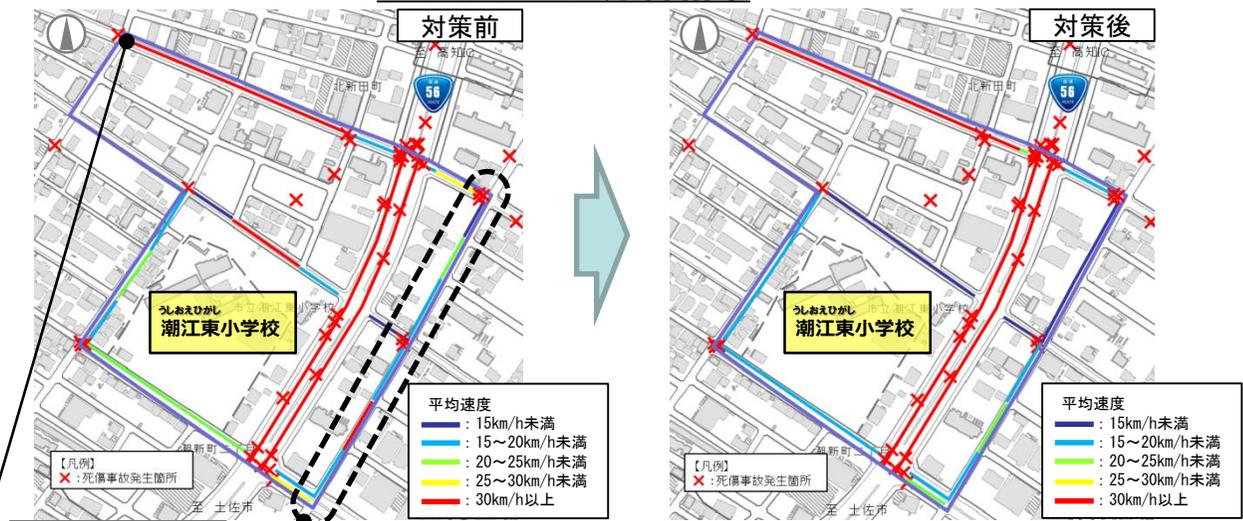
- 高知市潮江地区は潮江東小学校が立地しているが、横断歩道や外側線が未設置の箇所が多く、特にエリア西側地区では平均速度も高く危険な状況
- 潮江東小学校周辺の生活道路の速度抑制対策として、路側帯、交差点カラー舗装を設置
- 交差点カラー舗装設置の対策効果により平均速度が約4km/h減少

取組の概要



- 合同現地地点検の実施
- ・学校関係者、地域住民、関係機関で高知市潮江東小学校周辺道路の合同現地地点検を実施し、生活道路の対策を検討
 - ・タクシー会社からのヒアリングも実施
- H29.1~2: 課題抽出、対策検討

ビッグデータ分析結果



整備状況



整備効果

○速度指標の変化状況(平均速度)

	交差点カラー舗装(西側)		路側帯設置(東側)	
	東向き	西向き	北向き	南向き
対策前	42.0km/h	39.8km/h	14.0km/h	15.4km/h
対策後	37.8km/h	38.6km/h	13.9km/h	15.5km/h
	(▲4.2km/h)	(▲1.2km/h)	(▲0.1km/h)	(△0.1km/h)

【出典】1: 履歴点データ: ETC2.0プローブデータ 路側帯(対策前: H28.9.23~H29.3.22、対策後: H29.9.23~H30.3.22)
カラー舗装(対策前: H29.3.24~H29.4.24、対策後: H30.3.24~H30.4.24)

2: 背景地図: 国土地理院